

サマーミーティング議事録

開催日時 平成22年7月29日(木) 午後2:00
開催場所 岩間公民館 大会議室(市民センターいわま3階)
参加者

- 生徒27人 男子13人・女子14人
- 山口市長、渡邊副市長、飯島教育長 ほか

《意見交換テーマ》

- Aグループ: 観光・産業
- Bグループ: 環境
- Cグループ: 安心・安全
- Dグループ: 生活

《意見交換》

Aグループ: 観光・産業

意見等1

笠間芸術の森公園で大きなイベントがあるとき、笠間中学校のグラウンドがイベントの駐車場になってしまうので、公園周辺に駐車場をつくってほしいと思います。

回答(市長)

笠間芸術の森公園の駐車場を広げてほしいという要望は数多くありますが、なかなか土地の確保が難しい状況にありますのでご理解ください。

意見等2

陶炎祭などの大きなイベントの際は、ポスターなどをたくさん貼ってPRしてほしいと思います。

回答(市長)

陶炎祭には期間中25万人ぐらいの人出がありますので、ホームページに掲載したり、ポスターを貼ったりしてPRをしています。また、北関東自動車道ができたので、観光協会と市が一体となって自動車道沿線でPR活動をしており、今後も様々な方法でPRをしていきたいと思います。

意見等3

笠間市には笠間焼や笠間稲荷神社などの観光名所がありますが、訪れる年代が限られてしまうので、若い人が興味を持つような観光スポットをつくってほしいと思います。

回答(市長)

神社・仏閣はどちらかというと年配の方が多く訪れますが、今年5月に笠間芸術の森公園で行われたロックコンサートには、20代・30代の方が1日で5千人ほど集まりました。今後も、若い人が魅力を感じるようなイベントを開催していく必要があると思います。また、笠間芸術の森公園が全国で100番目の「恋人の聖地」に選ばれました。「恋人の聖地」は、東京の六本木ヒルズの最上階など、恋人が出逢う魅力のある場所として指定されるものです。笠間市が指定されたことに伴い、若い人たちが行ってみたいと思うようなものを芸術の森公園につくっていきたいと思います。

意見等4

ショッピングモールなど、ほかの市や県から人が集まってくる施設を笠間市につくればいいと思います。また、笠間のまつりをもっとPRして、人が増えればもっと盛り上がると思います。

回答(市長)

大きなお店ができると買い物には便利ですが、地元の商業者にも影響が出てきます。ま

た、企業側として事業展開がしやすい人口規模や地理的状況などを考えると、笠間市の人口規模でショッピングセンターや専門店を出店するのは難しいと思います。笠間のまつりは今年も8月に開催しますが、しっかりPRして一人でも多くの人に楽しんでもらえるよう取り組んでいきます。

意見等5

つくば市であれば宇宙、水戸市であれば偕楽園や水戸黄門が有名ですが、若い人や子どもたちにとって笠間焼はそれほど興味がないと思うので、若い人や家族連れを中心にしたものを笠間市につくれば良いと思います。

回答（市長）

笠間焼や笠間稲荷神社、合気道発祥の地などは笠間市が全国に誇れるものですが、なかなか全国規模になりきっていないのが課題の一つです。また、笠間市の名産にしようと「笠間の稲荷ずし」を売り出していますし、栽培面積日本一の岩間の栗もブランド化しようとしています。笠間市が全国に誇るものを積極的にPRしていきますが、市民の皆さんも市内にはこういうものがあるということを知っておいてもらわないと、対外的な情報発信ができません。ですから、今日配った市勢要覧をよく見ておいてください。笠間市の誇るものがたくさん載っています。

意見等6

私が笠間市に求めることは3つあります。1つ目は市民に笠間市のことをよく知ってもらって対外的にPRしてもらうこと、2つ目は茨城検定や水戸検定のように、笠間検定を実施すること、3つ目は笠間市の豊かな自然や動植物を守り、クライנגアルテンを市内各地に設置して、都会の人たちに農業の良さを知ってもらうことです。

回答（市長）

PRで効果があるのはテレビや新聞ですが、こうしたメディアが注目してくれるようなものを、笠間市から発信していく必要があると思います。また、笠間市の自然環境が豊かであるという認識を皆さん持っていると思いますが、住民の皆さん一人ひとりが認識することも大切だと思います。笠間検定ですが、やってみましょうか。検討してみます。クライングアルテンは宿泊施設が50棟ありますが、笠間市としては今の規模がちょうどいいと思っていますので、ほかの地区につくることは現在のところ考えていません。

Bグループ：環境

意見等7

ショッピングセンターや道路ができたおかげで生活は便利になりましたが、豊かな自然は失われつつあります。私は笠間市が安らぎの場であってほしいので、エコバッグの普及や電車の利用促進、植林などによって環境の改善につながれば笠間市にとって名誉なことだし、とてもうれしいことです。また、この会場に来る途中、お店が多いところと何もないところがありましたが、何もないところにもお店をつくったほうが良いと思いました。

回答（市長）

道路などをつくる時は、環境をできるだけ壊さないように配慮しています。同時に、エコバッグの活用や市職員のノーマイカーデーの実施、ライトダウンなどいろいろな取り組みをしていますし、公用車に電気自動車の導入も予定しています。また、お店が多いところと少ないところがあるのは事実ですが、お店を出す側の判断もあるので、どうしても人口が集中しているところにお店ができるようになってしまうと思います。

意見等8

道路を広くするために木を切ることは仕方がないと思いますが、切った分を植林して木を増やしたほうが良いと思います。

回答（市長）

本来は切った分の木を新たに植林することも大切ですが、現実には場所の問題もあって

進んでいないのが現状です。しかし、道路などの整備にあたっては、環境に配慮しながら進めていきたいと思ひます。なお、笠間市全体として大きい道路はだいたいできてきたので、山を切り開いてつくるような道路はそれほどなくなると思ひます。これからは、皆さんが通学で狭いと思ひ道路や排水の整備、歩道の整備などにお金を使つていきます。

意見等 9

笠間芸術の森公園を季節の花でいっぱいにしてほしいと思ひます。そうすれば、訪れる人がもっと楽しめるようになり、笠間市にもたくさんの方が来てくれると思ひます。

回答 (市長)

イメージしているのはひたち海浜公園でしょうか。この公園は四季の花が咲いていて、多くの方が訪れます。笠間市の木は桜ですが、その名所として愛宕山、北山公園、佐白山があります。笠間市では、この3つの拠点をもっと充実させていく取組みをしています。もちろん芸術の森公園を四季の花で彩ることもすばらしいことですが、桜の PR にも力を入れていきます。

意見等 10

工事で木を伐採しているのを見かけますが、自然を壊さずに、このまちを生かしてほしいと思ひます。

回答 (市長)

自然を大切にということですが、自然イコール環境です。一人ひとりが自然を大切にしていこうとする気持ちを持つことが環境の保全につながるものと思ひます。道路などの整備にあたっては、環境に配慮しながら進めていきたいと思ひます。

意見等 11

最近大きな道路ができ始めて便利になってきましたが、その一方で通学路も含めて整備されていない道路もたくさんあります。道路などの公共事業を増やせば景気の回復につながるし、笠間市も発展していくと思ひます。

回答 (市長)

生活基盤の整備は、公共事業として大切なことです。これからは、大きい道路よりも小さい道路の歩道整備や排水整備をしっかりとやっていきたいと思ひます。

意見等 12

笠間市のことだけを考えるのではなく、県内でも国内でも世界でも活発にボランティア活動のできる笠間市がいいです。ボランティア活動はしていると思ひますが、笠間市全体に対する呼び掛けや PR が足りないような気がします。

回答 (市長)

笠間市の枠にとらわれず、もっと広い視点で考えたほうがいいということですが、地元という意識も必要ですが、もっと広い意味でオール茨城とか、オール日本とか、そういう視点も自分を成長させる上で重要なことだと思ひます。また、笠間市でもボランティア活動をしている方がたくさんいますが、そうした方々が活動しやすい環境を整えていくことが行政の役割だと思ひます。中学生の皆さんでもボランティアで貢献できることがたくさんあると思ひますので、少しでも自分たちのできることをしてもらいたいと思ひます。

意見等 13

岩間の工業団地内の公園は、草が伸び放題で整備されていません。また、岩間第一小学校東側の池にゴミや油が浮いているので水質浄化をお願いしたいと思ひます。

回答 (市長)

笠間市が管理している公園や池は、年に2回ほど草刈りをしています。工業団地の公園には今日か明日行ってみて、草が伸びていれば刈るようにします。なお、笠間市では、公園などをその地域の皆さんに管理してもらおう制度を始めました。これは、市役所の仕事を放棄するということではなく、自分たちの地域にある公園は自分たちで維持してもらおう

という趣旨でご協力をいただいているものです。岩間第一小学校脇の池もそうですが、みんなでゴミを散らかさないようにしようとか、ゴミはきちんと持ち帰ろうとか、そういう気持ちを持つことが、自然を守り環境を守ることになります。なかなか人間社会の決まりを守れない現実もありますが、みんなで自然環境を守っていきたいと思います。

Cグループ：安心・安全

意見等 14

通学路に外灯をつけて明るくしてほしいと思います。また、交通ルールを守るよう呼び掛けてもらいたいです。

意見等 15

自然を守りながら、安全に通学できるよう、道路の整備をしてほしいと思います。

意見等 16

通学路の電灯が切れていたり、点いていても暗かったり、電灯が少ないところもあります。少ないところには電灯を増やすなどの整備をお願いします。また、狭くて危ない通学路もあるので、道路の整備もしてもらいたいと思います。

意見等 17

暗い通学路に外灯を増やしてほしいと思います。また、自転車や歩行者が安全に通れるよう、道路を整備したり、歩道をつけたりしてほしいと思います。

回答（市長）

皆さんからは、通学路の整備や防犯灯、外灯などの話をいただきました。通学している皆さんが感じるわけですから、整備しきれていない部分がまだまだあるということだと思います。まず道路ですが、すべての道路に歩道が整備され、すべての通学路に外灯が設置されているということには至っていません。市の予算はいろいろな使い方をしてはいますが、それらの整備を一気にやるというのは難しいので、時間がかかることを中学生の皆さんにも理解してほしいと思います。また、交通ルールですが、茨城県は全国でも運転マナーが悪いといわれています。ルールをきちんと守ることが安心・安全な社会をつくっていくことにつながりますので、皆さんが大人になったとき、また、今の中学生として、守るべきものはきちんと守っていただきたいと思います。また、外灯ですが、そういう箇所があるということは我々も充分承知していますので、順番にやっていきたいと思います。なお、外灯の電球が切れていたりするときは、学校の先生に言ってください。学校から教育委員会に連絡があれば、なるべく早く交換しますので遠慮なく言ってください。

意見等 18

笠間市の65歳以上の高齢者18,000人のうち、デイサービスを受けているのは1,950人なので、約16,000人のお年寄りがサービスを受けていないということになります。その人たちが家で骨折したり、倒れたりしたときに助けを呼べる人がいないと思うので、地域で協力してボランティア活動をするとういと思います。

回答（市長）

高齢化が進んでいるので、介護保険のサービスを受けていないお年寄りが増えています。ただ、私は自分の身の回りのことができる元気なお年寄りは、年齢に関係なくできるだけ自分でしたほうがよいと思います。心配なのは、たとえば一人暮らしのお年寄りが倒れたときに、誰にも通報ができずに、ややもすると一人で亡くなっていたという事例があることです。笠間市では、社会福祉協議会と協力して、定期的にお弁当を持って行って状況を確認したり、一人暮らしのお年寄りのところに緊急通報装置を設置したりして、何かあったときに対応できるシステムをとっています。これから高齢者が増えてきますので、市としても全体的な対策をしっかりやっていきたいと思います。

意見等 19

友部二中を中心に小・中学生が友部駅前に集まって、あいさつ運動を行いました。意識を高めるためにもこういう運動を定期的に行い、実施していないところでも実施したほう

がいいと思います。

回答（市長）

あいさつは人間同士の接点の基本です。笠間市でもいろいろな団体と駅などであいさつ運動をしていますが、実施回数を増やしたり、小学生、中学生、高校生が一緒になって駅に立ったりするなど、いろいろな形でやっていきたいと思っています。

意見等 2 0

私が笠間市に求めることは、公共施設のバリアフリー化です。駅や図書館などバリアフリー化がすでに進んでいるところもありますが、お年寄りが増えているので、お年寄りを大切にするやさしいまちであってほしいと思います。

回答（市長）

新しい公共施設はバリアフリーという考え方に基づいてつくってあります。すべての施設に行き届いているわけではありませんが、今後も建物や道路、公園などはバリアフリーを念頭においた整備をしていきたいと思っています。なお、健常者にも障害者にも使いやすいまちづくりとしてユニバーサルデザインという考え方がありますが、これはどこの行政でも必要とされているものです。

Dグループ：生活

意見等 2 1

最近車を使わず自転車を使う人が増えてきていますが、自転車でも渡ることができる歩道橋があればとても便利になると思います。また、スーパーのカスミ跡地ですが、子どもから高齢者まで幅広い年齢層が利用できるふれあいの場所になるといいと思います。

回答（市長）

今の国・県・市の考え方として、歩道橋はどちらかというにつくらない方向に進んでいますが、指摘されたことは頭の中に入れておきたいと思っています。カスミの跡地ですが、民間企業の土地であり建物なので、なかなか難しいと思います。子どもからお年寄りまで利用できる場所があればいいというのはそのとおりですが、カスミの跡地がいいのかどうかは別の問題になります。

意見等 2 2

目の不自由な高齢者のためにも階段を減らしたほうがいいと思います。たとえば笠間小学校前の歩道橋は、登ったり降りたりするのが大変です。また、目が不自由な人のために公共施設に点字があったり、足の不自由な人のためにエレベーターがあったりするととても便利になると思います。歩道橋にも公共施設にも工夫をお願いします。

回答（市長）

先ほど、バリアフリーの話がありましたが、高齢者にも障害者にも不自由なく使えるような公共施設の整備は必要だと思います。一気ににはできませんが、これからつくる際は、それを念頭において整備していきたいと思っています。

意見等 2 3

幼児や小学生の医療費は無料ですが、中学生も無料にしてほしいと思います。また、夜間もやっている病院があるといいと思います。それと、私が住んでいる地域にはバスが通っていないので、朝夕1便でもいいのでバスが通ればいいなと思います。

回答（市長）

今年の10月から、小学校6年生までの医療費を無料にしていきたいと思いますが、中学生もすぐというわけにはいきません。夜間の病院ですが、今年4月から笠間市立病院で夜7時から10時まで診療をしています。24時間対応というわけにはいきませんが、緊急の場合は、県立中央病院などの緊急対応病院でカバーするという形でいいのではないかと私は思います。バスがないということですが、車社会の到来とともにバスの利用者が減少し、近年は市町村で補助金を出して必要な路線を確保しているのが現状です。通学は

大変だと思いますが、朝夕バスを運行するのは難しいと思います。しかし、それでは困ってしまう人もいますし、お年寄りが病院や買い物に行くことができなくなってしまうので、笠間市ではデマンドタクシーという10人乗りのワゴン車を運行しています。1回の乗車賃が300円ですが、電話で予約して自宅などから目的地まで移動することができます。

意見等24

私が笠間市に望むことは、稲田駅前に溜まっている人たちがいなくなることです。電車を利用する人は通りづらくて困っているし、公共の場所なのでみんなが気持ちよく使えるようにしてほしいです。

回答（市長）

稲田駅前に若い人が集まって大きな声を出しているということは、駅の近くの人からも言われています。警察も定期的に巡回をしてくれていますが、これからも警察と連携して注意していきたいと思います。

意見等25

市内を走る赤いバスに乗りましたが、乗車人数が多くて高齢者が座れずに立っていました。高齢者を立たせておくのは危険なので、バスを増便して1台に乗る人数を減らしたほうが良いと思います。

回答（市長）

この赤いバスは、笠間市内の主な観光施設を巡回しています。1回100円で誰が乗ってもいいのですが、どちらかというと観光客が中心です。普段は座れないことはないと思いますが、イベント開催日や土日は乗車人数が多くなります。みんなが座れるよう2台、3台に増やすのは今のところ難しいと思いますが、これからもぜひ利用してください。

意見等26

「いこいの家はなさか」のような若者からお年寄りまで幅広く利用できる施設を増やしてほしいと思います。また、商店街が協力して地域通貨の流通や宅配サービスを充実させ、商店街を活性化させたほうが良いと思います。

回答（市長）

高齢化が進んでいますが、一人暮らしのお年寄り、介護が必要な人、元気なお年寄りなど、それぞれが安心して楽しく過ごせるような地域社会づくりが必要です。お年寄りの皆さんに喜んでもらえるような施策は、今後の話し合いの中で進めていきたいと思っています。商店街については、岩間地区も笠間地区も友部地区も個人の商店が衰退してきているというのが現状です。こうした中で、商店街をどうしていくかということは難しい問題で、なかなかいい方法が見つからないのが現状です。我々行政の応援も必要ですが、いろいろな工夫でお客さん呼び込む努力をして、うまくやっているお店もありますので、お店の経営者に頑張ってもらうことも必要です。それと、宅配は私も必要だと思います。高齢者が多い地域では、電話で注文を受けて品物を届けるという宅配制度が少しずつ増えてきています。こうしたことも小規模なお店が経営していく上での一つの方法ではないかと思っています。

意見等27

岩間駅前の商店街は、ところどころシャッターが閉まっていて活気がありません。なんとか人が集まり、適度に競争がある商店街はできないものではないでしょうか。また、笠間市の人口が減ってきているので、若者が住みやすい環境整備や地域社会がうまく回るようにすべきだと思います。

回答（市長）

商店街の活性化と人口の減少は指摘のとおりです。笠間市が合併したときの人口は81,500人ほどでしたが、今は8万人を切っています。減少の理由は日本全体の人口が減少していることと、都市部に人口が集中してきていることです。笠間市では、若い人たちが住みやすいまちづくり、そして子どもを産みやすい、育てやすい環境づくりに取り組んでいますが、なかなかその効果は現れてきておりません。地道に一つ一つしっかり

取り組んでいくことによって人口の減少に歯止めをかけ、若い人が笠間市に住みたいと思うような取組みをこれからも続けていきます。

意見等 28

岩間には光ファイバーが通っていないので、インターネットの接続に時間がかかります。光ファイバーの普及は行政ではなく民間企業が行っているのは分かっていますが、いつごろ工事に入るのか教えてほしいと思います。

回答（市長）

光ファイバーが整備されているのは友部地区の全部と笠間地区の半分、整備されていないのは岩間地区の全部と笠間地区の半分です。現在整備を進めていますが、来年の3月ぐらいまでには岩間地区も全部整備が終わると思います。

講評（副市長）

今日は、緊張して言いたいことが言えない人もいたかもしれません。私としては、若い人の定住、通学路の外灯、医療や介護、バリアフリー、環境など、幅広い話を聞くことができ、本当によかったと思います。市勢要覧に掲載されているとおり、笠間市では様々な事業を行っています。そしてこれらを住民の皆さんにも知っていただきたいと思っています。中学生の皆さんにも地域のいろいろなことを調べていただき、笠間市をよく知っていただきたいと思っています。

今日は貴重な時間を過ごさせていただきました。長時間にわたり、大変ご苦勞様でした。

むすびに（市長）

皆さんは、しっかり勉強し、しっかり知識を身に付けてください。知識は皆さんにとって大きな財産です。知識があるといろいろなものに興味がかかります。興味があると行動範囲が広がります。皆さんは私たちの大きな財産です。しっかり勉強して知識を身に付け、大きな人間になってもらいたいと思います。これが、私からのお願いです。頑張ってください。